



平成27年1月29日

各 位

会 社 名 田 淵 電 機 株 式 会 社  
代 表 者 名 取 締 役 社 長 貝 方 士 利 浩  
(コード番号 6624 東証第一部)  
問 合 せ 先 取 締 役 常 務 執 行 役 員  
経 営 管 理 本 部 統 括 佐 々 野 雅 雄  
(電 話 番 号 06-4807-3500)

### 新中期経営計画「MBP20」について

当社グループは、前中期経営計画「MBP15」において「SHIFT THE POWER」を掲げパワーエレクトロニクス分野へ選択と集中を進めて参りました。太陽光発電市場の急速な拡大に伴い既に営業利益において計画を大幅に上回る業績を達成しており、創業 90 周年を迎える 2015 年度を新たなスタートとして、2020 年度に売上 1000 億円を目指す新中期経営計画「MBP20」を策定し本日の取締役会で決議されましたので、お知らせいたします。

記

#### 1. 新中期経営計画「MBP20」の基本戦略

### **Global Power-Solution Company**

当社グループは、「未来に誇るコアテクノロジーを活かし、地球環境にやさしい『エネルギー先進企業』として広く社会に貢献すること」をミッションとして掲げており、本中期経営計画においても、企業目的として継続して参ります。

その上で、持続的成長とさらなる企業価値向上の実現に向け、前中期経営計画基本戦略「SHIFT THE POWER」を継承・発展させることで、パワーエレクトロニクス市場での国際的な拡大・展開を推し進める『グローバル・パワーソリューション・カンパニー』を目指して参ります。そのために大きく以下の3つのアクションプランを実行して参ります。

- (1) 事業領域の明確化
- (2) 製品開発方針の明確化
- (3) 経営基盤の強化

#### 2. 個別戦略

- (1) 事業領域の明確化

先進のパワーエレクトロニクス技術を志向した「特徴あるデバイス（変成器等）とひと味違うパワーソリューション・プロダクツ」をもって以下の4分野に展開いたします。

- ① エネルギー分野
- ② 産業機器分野
- ③ 輸送機器分野
- ④ ヘルスケア・医療機器分野

## (2) 製品開発方針の明確化

“世の中に無いもの”への志向のもと、先進技術へ積極果敢に経営リソースを投入して参ります。製品開発にあたり「市場近接度」「設計開発期間」に応じた短期・中期・長期の3層マーケティング体制を構築し市場・技術の見極めを実施して参ります。さらに、技術体制の強化にも取り組んで参ります。

### ①短期・中期マーケティング

当社がこれまで培ってきた「充放電技術」・「電磁誘導技術」を軸とした用途開発をもって、短期マーケティングにおいてはお客様ニーズ引き出し、中期マーケティングにおいては市場シーズ探索・勝てる製品ラインアップに焦点をあて、製品開発を実施いたします。

### ②長期マーケティング

永続成長企業を実現するための、未来の技術に焦点をあてたマーケティングを実施いたします。マクロトレンドの見極めによるバックキャストイングを遂行し、向かうべき事業領域・技術力の開発に取り組んで参ります。

### ③技術体制の強化（「E1000 構想」）

2020年度に技術プロフェッショナル 1000人体制（技術開発・設計技術・生産技術）を目指した「E1000 構想」を立ち上げ、テクニカルセンター建設等の開発環境の整備、育成プログラムの充実を図って参ります。

## (3) 経営基盤の強化

### ①キャッシュフロー経営の強化

高収益体質への転換、資本の最適化によるキャッシュフローの最大化をもって企業体力の充実を図るとともに、将来のビジネスの芽を育む研究開発への積極的な投資により長期安定成長を実現し、あらゆるステークホルダーの皆様の期待にお応えできる基盤構築に全社をあげて取り組んで参ります。

### ②組織体制の強化

益々進むグローバル化による市場環境の激変に対し機動的な対応を可能とすべく、当社では組織の強靱化に取り組みます。具体的には、2014年6月より導入しました執行役員制度の運用をさらに強化し、各種会議体の整備も含め、責任と権限の明確化、意思決定の迅速化を進めるとともに、「成果の出せるリーダー」「成果の出せる組織」「多様性を育む制度」「国際競争力を上げるネットワーク」の実現を目的とし、柔軟でダイナミックな組織人事制度の導入・国際人財の積極採用を推進し、当社の競争力の源泉である人財の強化、ダイバーシティに取り組んで参ります。

### ③ブランドの強化

「品質第一」の鍛え上げられた体制を構築し、当社統一ブランド表現のもと、国際標準の安心・安全のブランド、世の中に無いもの・先進的なものに取り組む「ひと味違う・一目置かれる」技術ブランドを作り上げて参ります。

### 3. 収益計画

本中期経営計画においては、2015年度から2020年度までの6年間のうち、2015年度から2017年度までの当初3年間の第1ステージ、2018年度から2020年度までの3年間の第2ステージといたします。

第2ステージの最終売上目標を1000億円とした上で、第1ステージの収益目標を以下のとおり設定しております。

	2013年度 (実績)	2014年度 (予想)	2017年度 (目標)
売上高	428億円	510億円	750億円
営業利益	55億円	95億円	120億円

以上